



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場会社名 イビデン株式会社

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹中 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

平成24年11月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	140,964	0.7	6,123	△5.7	4,810	86.6	705	2.9
24年3月期第2四半期	140,043	△3.7	6,490	△62.8	2,577	△83.5	685	△90.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △7,899百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △7,541百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	4.99	4.95
24年3月期第2四半期	4.79	4.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	402,502	258,305	63.0	1,835.58
24年3月期	425,871	274,901	63.4	1,885.53

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 253,476百万円 24年3月期 269,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年3月期	—	15.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	282,000	△6.3	6,500	△58.1	5,900	△63.7	300	△97.2	2.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	150,860,557 株	24年3月期	150,860,557 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	12,770,034 株	24年3月期	7,769,826 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	141,423,925 株	24年3月期2Q	143,091,298 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、補助金や復興関連予算に支えられ底堅く推移した内需に一服の兆しが見られ、景気の先行きが不透明な状況となっております。また欧州経済の減速や米国経済の回復遅れ、新興国の成長鈍化、加えて円高水準の定着など、企業を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況にあります。

半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット型携帯端末の新製品が続々と投入され成長は持続しておりますものの、企業間競争は激しさを増しております。また、これら製品の台頭を受け、パソコン需要は世界的に低迷しております。

自動車排気系部品業界におきましては、国内、北米市場は堅調に推移しているものの、欧州における販売台数の低迷と新興国需要の停滞が鮮明になってまいりました。

このような情勢のもと、当社グループでは連結中期経営計画「Global IBI-TECHNO 100 Plan」の最終年度にあたり、事業の構造改革を積極的に進めております。具体的には、成長が見込まれる市場に経営資源を集中的に投入するとともに、グローバルな最適地生産・販売体制の構築を加速させております。また、独自の自主改善活動を全社で展開し、ロス改善を軸とした収益基盤の向上に努めております。

これらの結果、当第2四半期の売上高は1,409億64百万円と前年同期に比べ、9億21百万円(0.7%)増加いたしました。営業利益は61億23百万円と前年同期に比べ3億66百万円(5.7%)減少し、経常利益は48億10百万円と前年同期に比べ22億33百万円(86.6%)増加いたしました。四半期純損益は、7億5百万円と前年同期に比べ19百万円(2.9%)の増加となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

プリント配線板は、韓国・台湾企業との競争激化に伴い販売価格が下落しているなか、スマートフォンやタブレット型携帯端末向け製品の受注が好調に推移したことにより、売上増となりました。

小型・薄型パッケージ基板は、スマートフォンやタブレット型携帯端末向けに、新製品の量産化が順調に進み、受注が好調に推移したことにより、売上増となりました。

高機能・多層パッケージ基板は、パソコン市場が引き続き低迷するなか、新世代品への切替えが進み、売上は前年並みとなりました。

以上により、電子事業の売上高は、838億14百万円となり、前年同期に比べ6.5%増加しました。同事業の営業利益は35億16百万円となり、前年同期に比べ98.6%増加しました。

セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、主力の欧州乗用車市場が減速したことにより、売上減となりました。

触媒担体保持・シール材は、海外需要が弱含むなか、国内の自動車購入優遇措置に伴う需要増により受注は底堅く推移し、売上は前年並みとなりました。

特殊炭素製品は、太陽電池市場が世界的な調整局面にあることに加え、半導体業界も振るわず、シリコン製造装置用部材の受注が低迷したことにより売上減となりました。

以上により、セラミック事業の売上高は、330億84百万円となり、前年同期に比べ11.6%減少しました。同事業の営業利益は14億39百万円となり、前年同期に比べ59.3%減少しました。

建材事業

メラミン化粧板は住宅着工数が持ち直すなど市況が回復に向かい、売上は微増となりました。

住宅設備機器は、既存顧客向け資材の販売が依然低迷しているものの、新規事業の拡販に努め、売上は微増となりました。

以上により、建材事業の売上高は、96億91百万円となり、前年同期に比べ3.5%増加しました。同事業の営業損失は3億6百万円(前年同期は4億1百万円の営業損失)となりました。

建設事業

法面工事部門は、防災・減災の関心が高まるなかで受注は底堅く推移し、売上は微増となりました。

造園工事部門は、民間の大型工事案件がなく、売上は微減となりました。

以上により、建設事業の売上高は、48億55百万円となり、前年同期に比べ1.0%増加しました。同事業の営業利益は5億81百万円となり、前年同期に比べ14.4%増加しました。

その他事業

合成樹脂加工部門は、国内の自動車販売が持ち直しに向かい、発泡樹脂製品の需要が堅調に推移したことにより、売上増となりました。

農畜水産物加工部門は、主力の乾燥食材において、前年度に発生しました東日本大震災後の一時的な需要増が終息したことにより、売上減となりました。

以上により、その他事業の売上高は、95億19百万円となり、前年同期に比べ2.2%減少しました。同事業の営業利益は2億47百万円となり、前年同期に比べ50.5%減少しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ233億69百万円減少しました。主な増減としては、たな卸資産が65億27百万円増加し、現金及び預金が135億89百万円、受取手形及び売掛金が76億7百万円、有価証券61億3百万円それぞれ減少しております。

負債では支払手形及び買掛金が70億52百万円、設備関係支払手形が29億18百万円減少しております。また純資産は、自己株式の取得などにより165億95百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月1日に公表いたしました連結の業績予想のうち、平成25年3月期の通期につきまして業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日（平成24年11月1日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,960	64,370
受取手形及び売掛金	58,097	50,490
有価証券	27,194	21,090
商品及び製品	14,083	17,412
仕掛品	8,327	9,629
原材料及び貯蔵品	13,408	15,304
繰延税金資産	2,107	2,034
その他	10,884	7,350
貸倒引当金	△423	△378
流動資産合計	211,639	187,303
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	68,107	71,093
機械装置及び運搬具（純額）	58,258	63,806
土地	17,904	17,863
リース資産（純額）	2,376	2,117
建設仮勘定	27,022	17,281
その他（純額）	4,208	4,245
有形固定資産合計	177,878	176,408
無形固定資産	5,286	10,631
投資その他の資産		
投資有価証券	25,070	21,242
長期貸付金	43	50
繰延税金資産	3,953	4,945
その他	2,400	2,304
貸倒引当金	△399	△385
投資その他の資産合計	31,067	28,158
固定資産合計	214,232	215,198
資産合計	425,871	402,502

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,613	43,560
短期借入金	18,716	18,018
未払金	13,363	15,743
未払法人税等	858	1,199
繰延税金負債	23	18
賞与引当金	3,623	3,555
役員賞与引当金	113	—
設備関係支払手形	3,987	1,069
その他	9,202	9,360
流動負債合計	100,502	92,526
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	5,021	5,532
リース債務	1,003	867
再評価に係る繰延税金負債	157	157
退職給付引当金	237	421
役員退職慰労引当金	661	578
繰延税金負債	1,837	2,387
その他	1,548	1,725
固定負債合計	50,468	51,670
負債合計	150,970	144,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	68,331	68,330
利益剰余金	184,000	182,807
自己株式	△30,641	△37,105
株主資本合計	285,842	278,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,483	611
繰延ヘッジ損益	△27	0
土地再評価差額金	71	71
為替換算調整勘定	△18,567	△25,392
その他の包括利益累計額合計	△16,040	△24,709
新株予約権	1,281	964
少数株主持分	3,817	3,864
純資産合計	274,901	258,305
負債純資産合計	425,871	402,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	140,043	140,964
売上原価	109,104	111,112
売上総利益	30,938	29,852
販売費及び一般管理費	24,447	23,728
営業利益	6,490	6,123
営業外収益		
受取利息	141	141
受取配当金	285	289
負ののれん償却額	1	—
補助金収入	—	969
その他	406	468
営業外収益合計	835	1,868
営業外費用		
支払利息	134	183
設備賃貸費用	11	6
持分法による投資損失	89	—
為替差損	4,015	2,341
その他	497	649
営業外費用合計	4,748	3,181
経常利益	2,577	4,810
特別利益		
固定資産売却益	22	21
投資有価証券売却益	—	3
補助金収入	27	—
新株予約権戻入益	359	383
その他	0	—
特別利益合計	409	409
特別損失		
固定資産除却損	167	85
減損損失	0	7
投資有価証券評価損	17	16
関係会社整理損	—	2,894
その他	14	24
特別損失合計	199	3,028
税金等調整前四半期純利益	2,787	2,192
法人税等	2,004	1,404
少数株主損益調整前四半期純利益	783	788
少数株主利益	97	82
四半期純利益	685	705

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	783	788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,301	△1,889
繰延ヘッジ損益	20	27
為替換算調整勘定	△7,043	△6,825
その他の包括利益合計	△8,324	△8,687
四半期包括利益	△7,541	△7,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,631	△7,963
少数株主に係る四半期包括利益	90	64

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	78,727	37,405	9,367	4,806	130,306	9,737	140,043
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10	17	18	5,954	6,001	3,423	9,424
計	78,737	37,422	9,386	10,760	136,307	13,161	149,468
セグメント利益又は損失(△)	1,770	3,535	△401	508	5,414	499	5,913

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,414
「その他」の区分の利益	499
セグメント間取引消去	15
全社費用及び利益(注)	561
四半期連結損益計算書の営業利益	6,490

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	83,814	33,084	9,691	4,855	131,445	9,519	140,964
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9	43	1	6,328	6,383	2,595	8,978
計	83,823	33,127	9,692	11,184	137,828	12,115	149,943
セグメント利益又は損失(△)	3,516	1,439	△306	581	5,231	247	5,479

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,231
「その他」の区分の利益	247
セグメント間取引消去	114
全社費用及び利益(注)	529
四半期連結損益計算書の営業利益	6,123

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「セラミック」セグメントにおいて、Porzellanfabrik Frauenthal GmbH (現社名 Ibiden Porzellanfabrik Frauenthal GmbH) の株式取得による子会社化に伴い、のれんの金額に重要な変動が生じております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において、3,726百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第2四半期連結会計期間において、平成24年8月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,000,000株を取得いたしました。これにより自己株式が6,463百万円増加しております。

(6) 重要な後発事象

特記すべき事項はありません。